

8. 各専門部の事業計画総括表（平成 21 年度～平成 25 年度）

この表は、今後 5 年間（平成 21 年度～平成 25 年度）の内に取り組んでみたい事業を網羅したものです。この中から事業を拾い出し、毎年度の実践計画（事業計画）を作っていくこととなります。住民の皆さんの要望内容は、時代の流れに応じ年々変わっていきますので、この総括表は毎年見直しをして最新の内容にしていく必要があります。

取り組みたい事業が、この総括表に記載していない場合は、必ず、この地域づくり計画書の総括表を修正してから実践計画に取り組むこととなります。したがって、この事業計画総括表を見れば、評議会の今後の取り組みの指標となる内容が全て盛り込まれていることとなります。5 年間を経過して振り返れば、実践できなかった事業もあると思いますが、やはり夢のような目標も入れておくことが元気の源になりますので必要ではないでしょうか。このような趣旨で総括表を作成したものです。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
総務企画部	元気な集落づくりの支援	各集落では、将来を見据えた計画性を持って、元気な集落づくりに取り組んでいこうと「集落づくり計画」を作成しました。21 年度から集落計画に沿った取り組みをして頂くこととなりますが、やる気があっても、指導者不足や資金不足などで満足な取り組みが出来ない集落が想定されます。	集落づくり計画の実践活動を支援します。他の集落のモデルとなるような活動を特に支援します。また、協議会の備品（ビデオカメラ、デジタルカメラ、グラウンドゴルフ用品、草刈機等）も貸し出し、集落活動に有効に活用していただきます。
	行政要望等の取りまとめ	集落には様々な課題があります。集落で解決できることは集落で、集落で出来ないことや地域で取り組むことが効果的なことは町や協議会に要望することとなります。これらの要望を取りまとめ、協議会への要望は協議会で対応を考え、行政要望は町に要望します。	町への行政要望は、現地調査を実施し優先順位をつけて要望します。当面は馬佐良の上水道化、馬佐良～御内谷間の道路拡幅、図書館前バス停の待合所の設置、桜の管理や害虫消毒などを重点とします。
	集落懇談会の実施	各集落では、協議会の組織や取り組み事業がわかりにくいなどの意見があります。また協議会活動の趣旨が浸透していないため、各種事業の協力者や参加者が少ないことも課題です。住民の理解と協力がなければ協議会は成り立ちません。	各集落に出かけ、協議会の設立趣旨や実施事業についての意見交換をし、住民自身が望んでいる事業を展開することによって、良き協力者や参加者の増につなげます。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
総務企画部	集落合併の支援	平成 19 年度には、清水区と橘区が合併し「いずみ」が誕生し、活性化に向けて頑張ってもらっています。法勝寺地区には大小合わせ 28 の集落があり、他振興区と比較しても最も多い集落数です。今後は世帯数の減少や高齢化により、集落としての機能が果たせない集落が出てくるのが想定されます。	集落合併の意向がある集落の仲人役として支援します。
	ふるさとづくり計画及び地域づくり計画の見直し	農林水産省の補助事業である農山漁村地域力発掘支援事業の「ふるさとづくり計画」と協議会の全体事業を網羅した「地域づくり計画」を平成 20 年度に作成し、この指針に沿って事業に取り組むこととなりますが、地域住民の要望や提案などは年々変化してくるため、毎年見直す必要があります。	毎年、各部の事業意向や集落要望などを調査し、計画書から洩れている事業を拾い出し、計画書を最新の状態に修正補強します。
	困り事相談事業	少子高齢化が進み、精神的な悩み事や困りごとが増えてきています。身近に相談相手も無く、悩みが重なり、うつ病などになる方が増えてきている状況です。	地域の課題や個人の悩み事でも安心して相談できる協議会を目指します。相談を受けたときは、行政や関係機関とよく相談し、解決にむけて誠意をもって取り組みます。
	防災・防犯・交通安全対策	鳥取県西部地震も遠くなり防災意識も薄れてきているため、各集落の防災対策を把握しながら協議会としての防災計画を作成する必要があります。平成 23 年 6 月 1 日までに全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。子どもたちの帰宅時の防犯対策も必要です。また交通安全のストップマーク（足型）が薄くなったり、無くなったりした箇所が多くあります。	防災意識の高揚を図り、各集落には自主防災組織体制の整備をお願いします。協議会としての防災計画を作り緊急時に備えます。子どもの防犯・交通安全対策として、家庭にいる方々に、子どもたちの帰宅時に街頭に出て声かけをしながら見守って頂くようお願いいたします。火災警報器の早期設置を推進します。各集落の十字路等にストップマークの設置を推進します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
総務企画部	あいさつ運動の推進	あいさつの慣行は、お互いが話したり親しくしたりするきっかけとなり、さわやかな良い気持ちを残します。大切なのは、あいさつの一言をきっかけとした、コミュニケーションを図ることです。このことが犯罪抑止にも交通事故防止にもつながってくるし、心ふれ合う明るいまちづくりの一步となります。	「こんにちは」のあいさつと、あいさつ後の「お元気ですか」等の、「もう一言声かけ運動」の実施し、笑顔あふれる法勝寺地区にします。
	若者定住対策	就職先が少ない・核家族化・生活の利便性の追及などの様々な理由により、若者が集落や地域から米子市等へ出て行くため集落の活気が無くなってきました。簡単に答えを導ける課題ではありませんが、みんなが問題意識を共有し、子どもたちが各種の行事に参加する機会を与え、住民や豊かな自然とふれあうなかで、自分たちのふるさとを守ろうとする地域愛を育みます。	町には企業誘致・住宅対策などをお願いし、協議会では地域の魅力の再発見や地域を愛する心の育成を受け持ち、お互い役割分担しながら協働で若者定住に向けて取り組みます。また、地区出身者に地域の良さを再認識していただき、Uターン者の確保につなげます。
	防災無線機の一斉点検	各戸に設置してある防災無線機の調子が悪く、聞き取れない家庭があります。	防災無線の点検を啓発し、不良品は町に修理を依頼し予期せぬ災害に備えます。
	協議会のシンボルマークと協議会旗の作成	敬老会やスポーツ大会などの行事をするときに、協議会を象徴するシンボルマークや協議会旗が無い。	地域振興協議会のシンボルマークと協議会旗の作成。シンボルマークは公募により決定します。
	広告塔の作成	地域振興協議会の存在と取り組み内容が、住民に充分認知されていない。	協議会のスローガンを掲げた広告塔を作成します。
	広報紙の発行	協議会活動や各集落の集落づくり活動を紹介し、住民参画の地域づくりを目指します。	カラー写真を使った広報紙「ほっしょうじ」を年3～4回発行します。さらに事務局だよりとして「法勝寺地区地域振興協議会だより」を随時発行します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
総務企画部	南部町テレビの活用	市町村合併の目玉事業として誕生したCATVの南部町チャンネルを効果的に活用した広報・啓発活動が出来ていない。	なんぶSANチャンネルを利用して協議会活動の紹介及び活動参加を啓発します。ビデオカメラを購入する。
	人材名簿の作成	自分が持っている技術・特技・時間などを活用して、機会があれば地域のために役立てたいと考えている方が多い。	人材名簿を作り、それぞれの能力にあった活動の場を紹介し、地域づくりのために頑張ってもらいます。
	他の協議会との交流と合同事業の実施	町内には7つの振興区がありますが、お互いの交流はあまりありません。他協議会と共同で事業をしたほうが効果的な場合もあります。	協議会役員及び部員の交流会や共催事業を実施します。
	協議会役員・部員研修	協議会と同じ目的で取り組みをしている団体が近隣に無いため、暗中模索で事業実施をしています。	協議会役員・部員等を対象にした学習会や先進地の取り組み状況を視察研修し、今後の活動に活かします。
	区長文書の配布	町から区長宛への文書箱の配布を依頼されています。	月に2回、文書箱を配布する。
	さいはく分館の管理	公民館から依頼され、南部町公民館さいはく分館の使用受付などの日常管理をしていますが、契約書を交わしていません。	南部町公民館と正式に委託契約を結び、さいはく分館の日常管理をします。
	NPO法人化の検討	協議会活動が住民に認められ安定してくると、協議会の自立性を高めるためにも、独自で活動資金を得る収益事業にも取り組んでいく必要があります。そのためには社会的な信用を得なければ諸契約の締結や職員の採用等に支障を来します。	NPO法人（特定非営利活動法人）化を検討します。
	公共交通機関の維持対策	高齢化が進み、自らで運転できない人が多くなってきます。交通手段としてのバスの運行は欠かせないものです。	日ノ丸バス路線、ふれあいバス路線の循環線や伐株線の安定継続に向けた乗車運動に取り組みます。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
生涯学習部	グラウンドゴルフ大会	人気が高いグラウンドゴルフ大会を開催し、青少年から一般までの幅広い参加を通じた親睦を図ります。小学生を中心にしてグラウンドゴルフ練習に取り組みます。	グラウンドゴルフ大会を年2回開催します。
	法勝寺地区運動会	子どもから高齢者までの多くの方々の参加と交流により、健康で明朗な地域づくりを目指します。	運動会を毎年実施することにより、互いに交流と親睦を深め、心と体の健康を増進します。
	じげ巡り駅伝大会	法勝寺振興区は、28集落で構成しているが、範囲も広く各集落をめぐる機会が少ない。法勝寺地区全域をめぐる駅伝大会を開催することによって選手の交流や応援などで各集落間の交流を深めます。	青少年から一般までの参加による、全28集落を巡る駅伝大会を開催します。
	ソフトビーチバレーボール大会	ソフトビーチバレーボール大会を通じた親睦を図ります。上位の男・女のチームは、法勝寺地区の代表チームとして南部町大会に出場します。	ソフトビーチバレーボール大会を開催します。
	その他のスポーツ大会の検討	同じスポーツ大会を継続して実施していると、参加者の固定化につながる傾向もあります。各年代層がそれぞれ年代層に応じたスポーツに参加できるように種目を検討する必要があります。	新しく取り入れてほしいと要望の高いソフトボール大会の開催を検討します。
役員ユニホーム等の整備	協議会では、運動会・じげ巡り駅伝大会など各種の体育事業を実施していますが、住民の方には誰が役員なのか分からないため相談事などで戸惑われるときがある。文化祭やイベントなどを盛り上げるための用具を整備します。	誰でも役員とわかるユニホーム（簡易ジャンパー等）を作成します。祭り等のイベントを盛り上げる祭裃天やのぼりを整備します。	

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
生涯学習部	国際交流料理教室	町内あるいは近隣市町村に在住している外国人を料理講師に招き、他国の自慢料理を習うと共に、多様な価値観や生活様式の違いなどを理解しあいます。	外国人の料理講師を招き国際料理教室を開催します。
	しめ縄づくり教室の開催	年々細工をする人が少なくなっており、伝統のしめ縄かざりが廃れかけています。	正月に合わせ12月に「しめ縄づくりの教室」を開催し、伝統文化の継承を図る。
	カラオケ芸能発表会	地域で活動している芸能団体やカラオケ教室生等の発表の機会を設けることにより、発表目標に向かって演技や技術の向上に努めて頂くとともに地域住民の交流と楽しい場をつくる。	毎年カラオケ芸能発表会を開催します。
	花いっぱい運動の展開	集落内の花壇、商店・民家の玄関先などに花を植える運動を展開し、地区内はどこに行っても美しい花が咲いている地域づくりをします。	花いっぱい運動を展開し、地区内を優しさあふれる環境にします。花の「寄せ植え教室」を開催し、鉢への植え方を勉強し玄関先を飾って頂く。花の種や苗の斡旋等を行います。
	納涼盆踊り大会の開催	法勝寺地区は盆のイベントがありません。地区民や里帰りをした人たちが交流できるイベントとして、南部町公民館さいはく分館前の広場を利用した盆踊り大会の復活を図ります。	若者たちに呼びかけ、盆踊り大会の復活を検討します。
	人権啓発、小地域懇談会の開催	町主催の小地域懇談会が開催されなくなったが、依然として人権に対する関心は低く、今後も人権学習や啓発は継続していく必要がある。子どもからお年寄りまで、一人ひとりの人権を大切にす地域を目指します。	町主催の人権講演会等への参加推進や、協議会として集落等に出かけ人権啓発のための懇談会を開催します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
生涯学習部	解放まつりの支援	西伯文化会館主催の解放まつりに参加し、交流を通して人権学習を行います。	解放まつりの参加案内広報や昼食等の材料代を支援します。
	青少年の自然観察会	子どもたちが地域の自然を体験する機会が少なくなり郷土愛が薄れてきています。	小中学校生を対象とした山野・小川・生物等を観察会を開催することにより、豊かな地域を見直し、自然を大切にする子どもを育成します。
	子ども会育成会の活動支援	青少年期に異年齢集団で活動する子ども会活動は、子どもの育成にとって重要です。少子化により、子ども会が成り立たない集落が出てきています。また、中学生の子ども会への参加が少ない。	法勝寺地区全体及びブロック単位の子ども会活動を支援する。また、南部町子ども会育成連絡協議会と連携し、中学生が子ども会のリーダーとして行動できるように育成します。
	名所旧跡への案内看板の設置	伝統的な名所旧跡は地区内には数多くありますが、説明看板等も無くなり、子どもや若者たちは近くにあっても由来や歴史的価値、大切さを知らないのが現状です。	このままでは伝統的な名所旧跡が廃れていくため、案内看板を設置し保存継承します。地域に係わる歴史講座なども計画します。
	男女共同参画社会の推進	男女が互いの人権を尊重し、個性を認め合いながら、共同で社会参画できる地域になるように啓発します。	南部町男女共同参画推進協議会の活動支援や同団体の主催事業に参加します。男性も家事が出来るようにするために、男の料理教室なども開催します。
	法勝寺一式飾りの支援	江戸時代末期頃からの伝統行事である町の無形文化財「法勝寺一式飾り」は、技術者の高齢化などで後継者の育成が必要となっています。多くの観光客が訪れますが、巡回コースに三本木地区の参加の検討や法勝寺宿の収入につながる方策の検討も課題です。	法勝寺宿自治会と相談し、一式飾りがより活性化する方策、一式飾りの説明板・展示箇所の案内板の作成等を支援します。また協議会としても春祭りを盛り上げるための事業を検討します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
生涯学習部	法勝寺歌舞伎保存会の支援	伝統芸能である「法勝寺歌舞伎」は、保存会によって伝承されています。近年は子ども歌舞伎も結成され、大人歌舞伎とともに各所で公演し好評を博しています。課題は新規会員の加入が少ないことと衣装・道具等が老朽化してきたことなどがあります。	法勝寺歌舞伎保存会と相談し、公演用具や衣装などの整備等を支援します。
	長田神社神幸式の復活支援	町民から10年前まで春祭りとしての一大イベントとして盛大に行われていた長田神社の神幸式の復活の要望が多くあります。神幸式はお神輿行列が奴踊りを先頭に法勝寺宿内を練り歩く時代絵巻であるが、中心となる若者が少なくなったこと、開催日が決まっているため平日には勤め人は参加しにくいこと、小道具・衣装などが古くなってきたことなどにより休止中です。	当面は、氏子総代の皆さんや関係者の方々の復活に向けた話し合いを支援します。
	ふれあいウォーキングの開催	自分の健康を維持するために、体力に合わせた健康づくり運動が課題となっています。法勝寺川土手をウォーキングやジョギングコースとし、歩行距離がわかるような距離板設置を検討します。	子どもから高齢者まで自分の体力に合わせて歩行距離を決め、地域の名所旧跡や自然観察をしながらウォーキングやジョギングを楽しむ会を開催します。体力づくりと楽しい交流を図ります。
地域づくり部	桜並木等の管理	観光客が多く訪れる法勝寺城山公園、法勝寺川土手、妙見山等には約700本の桜があり、その管理はボランティア団体である河畔倶楽部が担っておられます。桜の老木化に伴い、天狗巢病・害虫の繁殖などで作業量が多くなり1団体では管理が大変になってきました。	河畔倶楽部に協力し、天狗巢病枝切り・害虫駆除・下草刈り等を支援します。また、老木化した木に変わる植栽を計画的に推進します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
地域づくり部	ゴミの不法投棄対策	町道や広域農道脇、河川敷などに不法投棄のゴミが多い。ホタルが飛びかう美しい地域を目指します。	不法投棄防止を啓発すると共に、道路脇・河川敷などに捨てられたゴミを回収し美しい法勝寺地区を維持します。
	公園等の清掃	子どもたちが遊ぶ公園にゴミが落ちていたり、草が生い茂ったりしているときがあります。	公園を点検し、子供たちが安心して遊べる場所の提供をします。草刈及び清掃活動を行います。子どもたちにはゴミの持ち帰りを啓発します。
	町道等の維持作業	町道や農道等の舗装に小さな穴があいていたり、道路脇に草木が繁茂したりして見通しが悪くなっている箇所があります。	地元集落に呼びかけ、舗装の簡易な補修作業・草刈作業等を行い、安全に通行できる道路を維持します。
	鳥獣被害対策	農地を荒らす鳥獣被害が多発しています。	安定した農作物づくりを進めるため、猪・ヌートリア・カラス・タヌキなどの被害防止対策を支援します。
	休憩所の設置	法勝寺地区の中心地である「まごころ市」や「総合福祉センターしあわせ」の周辺に気軽に休憩できる東屋を設け憩いの場とします。	南部町などの関係機関と協議します。
	小学生農業体験事業の開催	機械化が進み、子どもたちが農家の仕事に携わる機会が少なくなり、主要産業である米づくりの過程を知らない子どもが増えました。	学校周辺農地を利用して、播種から収穫までの一貫作業を体験の取り組みをします。収穫したモチ米で餅を作り、みんなで食べることにより収穫の喜びや農産物の生産プロセスを習得します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
地域づくり部	特産品の開発	法勝寺地区には、地元産物を直売する「まごころ市」がありませんが、特産品と呼べるものはありません。	農産物・加工品などの特産品開発を「まごころ市」などの既存の団体と共に研究します。当面はマコモタケの試験栽培と料理法のPR及び加工品の試作を行います。
	耕作放棄地の活用	農業後継者が少なくなり各地で荒れた農地が目立つようになってきました。農地保全対策が必要です。	耕作放棄地の活用方法を研究します。一案として、マコモタケの栽培や耕作放棄地の雑草を活用したヤギの飼育を行います。ヤギは珍しい動物なのでふれあい体験として保育園児との交流も図り情操教育の一助にしたいと考えています。
	農産物直売所「まごころ市」の支援	野菜などの収穫技術は高いが、販売意欲は低い農家が多い。まごころ市に参加されていない農家も多い。食の安全が社会問題になっています。商店が少なくなった法勝寺地区の中心にあり、安心・新鮮・低価格な野菜等を提供して頂くためにも大切な存在です。	まごころ市への参加を支援します。生産物を、まごころ市で販売し、一定の収入と楽しい農業の推進を図ります。また、まごころ市が進めている安全な食の提供、地産地消活動を支援します。
	焼却ゴミの減量化対策	地球温暖化と焼却施設クリーンセンターの延命化が課題となっています。町が進めている地域振興区ごみ減量化補助金制度に取り組み、排出目標値(95/100)328t以下を目指します。また、高齢者から、分別収集の分類方法が複雑でわからない、車の運転ができないためゴミ袋が重くて収集場所まで持っていくのが大変であるとの声があります。	ゴミの分別を啓発し、資源ごみを回収し、焼却ごみの減量化を図ります。集落などで分別講習会を開催し、分別方法などの相談に応じます。また、町の補助事業を活用し、生ゴミ処理機・コンポスト購入の斡旋をします。マイバック運動を推進します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
ふれあい部	敬老会の開催	敬老会は各集落で開催していたが、集落の皆でお祝いするところは少なく、記念品を配るだけの集落が多い。高齢者への敬愛の念が薄れつつあります。	法勝寺地区全体での敬老会を開催します。 (該当者 330 人)
	一人暮らし高齢者 ・高齢者世帯の正月祝い	一人暮らし高齢者(70才以上)や高齢者のみ世帯(75才以上)は、お正月用のモチが作れない家庭が多い。	歳末に餅つき大会を開催し、ボランティアで餅をつくる。一人暮らし高齢者や高齢者世帯にお餅を配り、安否を確認すると共に良い正月を迎えて頂きます。
	健康診断への参加啓発	町が行う健康診断に参加されない人がおられます。受診しない人の意見は、待ち時間が長いこと、車の便が悪いことなどがあげられています。	町には健康診断への参加がしやすい環境づくりを要望するとともに、健康診断の重要性を啓発し、自分の健康状況を確認し、健康維持に努めて頂く運動を推進します。
	福祉ボランティア活動の 推進	一人暮らし高齢者や高齢者世帯では、病気や問題が起きても相談相手が無く困っている家庭があります。商店まで遠くなり、日用品の買い物も不便になってきています。また、安否確認の方法が課題となっています。	一人暮らし高齢者・高齢者世帯等への安否確認や日常生活上の各種相談等のボランティア活動を社会福祉協議会や民生児童委員と協働しながら推進します。集落によっては、ボランティアのできる人が少ない集落も考えられるので、集落枠を超えた助け合いも検討します。
	生き生きサロンの推進	各集落では、社会福祉協議会の補助事業である「生き生きサロン」を開催しているところと、開催できない集落があります。	各集落で生き生きサロンが開催できるよう支援します。
	子育て支援	核家族化が進み、子育てについての経験も浅く、相談相手も無く、悩んだり困っていたりする若夫婦がいます。	子育て中の父母の相談相手となり、安心して子育てが出来るよう支援します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
ふれあい部	健康づくり教室の開催	元気な人は、自分の健康について無頓着な人が多い。健康づくりについての予備知識を得て、自分の体は自分で守るように心がけなければなりません。また、高齢化が進んできたため、寝たきり高齢者などの看病の仕方なども研修します。	医師・保健師等による健康づくり教室、寝たきり高齢者等を看病する講習会を開催します。
	リサイクル運動の推進	子どもの成長は早く、すぐに着られなくなる衣類が多くあります。その他の物でも、まだ充分活用できるものがゴミとして処分されています。	リサイクル運動により、子ども服・古着・不用品等を持ち寄ってバザーを開催し、子育て等を支援します。
	グループホーム事業の推進	日常の家事などができない認知症高齢者が増えてきています。家庭での介護の負担が大変になってきています。	認知症など的高齢者が、少人数で一般住宅を利用して地域に溶け込みながら生活できるグループホーム事業を支援します。
	老人クラブ活動の支援	老人クラブは各種のボランティアを実施し、社会貢献をしている団体です。近年、高齢者数は増えているが、新規加入者は少なく、各種事業の活性化が図れない状況です。	各種の活動に参加しやすい環境づくりや会員増のための募集チラシの作成などを支援します。
	向こう三軒両隣の声かけ運動	一人暮らし高齢者世帯や高齢者世帯が多くなってきました。生活上の困りごとや急な病気などの心配もあるので、隣近所と親しくして、お互いを気遣い助け合いができる明るい地域を目指します。	民生児童委員と協働して向こう三軒両隣の声かけ運動を実施します。

専門部名	活動事項	現状・課題・目的	活動内容
ふれあい部	犬・猫対策	野良犬・野良猫が多くなり困っている集落があります。また、犬の散歩で糞の処理をしない飼い主もいます。	家庭で飼っている犬・猫が子どもを産んだときには、野良化しないように適正な対応をお願いします。また、犬の散歩は、マナーを守って糞の処理をお願いします。